

## 事例7 ヒューレット・パカード・エンタープライズ・カンパニー及びクレイ・インクの統合

### 第1 当事会社

ヒューレット・パカード・エンタープライズ・カンパニー（本社米国）（以下「HPE」という。）は、主に情報技術製品の製造販売業を営む会社である。

クレイ・インク（本社米国）（以下「Cray」という。）は高性能計算システム（以下「HPC<sup>1</sup>システム」という。）の製造販売業を営む会社である。

以下、HPEと既に結合関係が形成されている企業の集団を「HPEグループ」と、Crayと既に結合関係が形成されている企業の集団を「Crayグループ」と、HPEグループとCrayグループを併せて「当事会社」という。

### 第2 本件の概要及び関係法条

本件は、HPEとCrayが、HPEが新たに設立した子会社を消滅会社、Crayを存続会社として合併した後、HPEがCrayの株式に係る議決権の全部を取得すること（以下「本件行為」という。）を計画したものである。

関係法条は、独占禁止法第10条及び第15条である。

以下では、当事会社間に競合関係及び取引関係のあるHPCシステム及びHPCシステム用ストレージについて検討する。

### 第3 一定の取引分野

#### 1 商品範囲

##### (1) HPCシステム

##### ア HPCシステムとパソコンの代替性

HPCシステムは一般的に「スーパーコンピューター」の名称で知られており、高い演算処理能力を有し、膨大なデータを高速で処理できる製品である。HPCシステムは、用途に応じてカスタマイズされることも多く、これまでの需要者は政府機関や研究機関等に限られていたが、最近では、HPCシステムが汎用品化して価格も低下したことから、自動車メーカーや医薬品メーカー等が人工知能による演算やビッグデータの解析に使用するなど、需要者の幅が広がっている。

---

<sup>1</sup> High Performance Computing の略。

一方、パソコンは単一ユーザー用の汎用コンピューターシステムであり、演算処理能力を有している点において、HPCシステムとパソコンは共通している。

しかしながら、HPCシステムもパソコンも、主にデータを保存するハードディスクなどのストレージ、計算のためにデータを一時的に記録するメモリ及び計算を行うCPU（中央演算処理装置）から構成される点は同じであるものの、HPCシステムはこれらの装置をいくつも繋ぎ合わせて高い演算処理能力を持たせたものである点がパソコンと異なる。また、HPCシステムの価格は1000万円以上であることが一般的であるのに対し、パソコンの価格は数万円から数十万円程度であり、両者の価格帯は全く異なっている。

このため、HPCシステムとパソコンとの間には需要の代替性は認められない。

加えて、HPCシステムを構成するCPUやメモリなどの装置はパソコンに使用されるものより高性能であり、データ処理の高速化を図るためにこれらの装置同士の接続の仕方を工夫する必要がある。そのため、HPCシステムはパソコンよりも、その製造に当たって非常に高度な技術が必要とされるとともに、需要者からの要望に応じたカスタマイズにも対応する必要がある。

このため、HPCシステムとパソコンとの間には供給の代替性も認められない。

したがって、本件行為においては「HPCシステム」について検討する。

## イ HPCシステムの汎用性の程度及び性能の違いによる代替性

HPCシステムには、様々な用途に利用することが可能な汎用性の高い製品のほか、需要者ごとにカスタマイズされ、特定の用途に用いられる汎用性の低い製品が存在し、その汎用性の程度は様々である。また、HPCシステムの演算処理の性能も様々であり、性能が非常に高い製品もあれば、性能がある程度抑えられた製品も存在する。HPCシステムは汎用性の程度と性能に応じて価格が異なり、需要者は用途に見合った仕様及び価格のHPCシステムを選択していることから、汎用性の程度及び性能が異なる製品間の需要の代替性は限定的である。

この点、HPCシステムの製造販売業者には、汎用性の程度及び性能の異なる製品を幅広く製造販売している事業者が存在する一方、得意とする製品群に絞って製造販売している事業者も存在する。例えば、Crayグループは汎用性の低い製品を得意としており、HPEグループは

汎用性の高い製品を得意としている。しかし、HPCシステムはサーバー、ストレージ等の装置で構成されているため、HPCシステムの製造販売業者は、個々の装置の組合せを変えることでHPCシステムの汎用性の程度や性能を変更して供給することが可能であり、自社で通常製造していない装置を組み合わせる必要がある場合にも、他社から当該装置を調達することで対応することが可能である。実際に、Crayグループは汎用性の低い製品を得意とするものの、他社からサーバー等の装置を調達して汎用性の高い製品も製造販売しており、HPEグループも、HPCシステムの汎用性の程度や性能を変更して、通常得意としない仕様のHPCシステムも製造販売している。

このように、汎用性の程度及び性能が異なるHPCシステムの製品間の供給の代替性は認められる。

#### ウ 小括

以上のことから、本件では、「HPCシステム」を商品範囲として画定した。

#### (2) HPCシステム用ストレージ

HPCシステム用ストレージとは、HPCシステムを構成する装置の一つであり、データを保管・保存する機能を有するものである。

前記(1)アのとおり、HPCシステムは、高い演算処理能力によって膨大なデータを高速で処理するものであり、このような能力を発揮させるため、HPCシステム用のサーバー、ストレージ、ネットワーク、アプリケーション等の各装置自体がパソコン等の他の用途に用いられる装置よりも高性能かつ大容量であり、さらに各装置は連動して作用するように統合して設計される必要がある。そのため、HPCシステム用ストレージと、パソコン等の他の用途に用いられるストレージとの間に需要の代替性は認められない。

また、HPCシステム用ストレージには高い演算処理能力によって高速で処理された膨大なデータの保存が求められることから、同ストレージを供給するためには、パソコン等の他の用途とは異なる高性能かつ大容量なストレージの製造、単体のHPCシステム用ストレージ同士やサーバー等の幾つもの他のHPCシステム用の各装置との接続、需要者からの要望に応じたカスタマイズといった高度な技術やノウハウが必要となる。したがって、HPCシステム用ストレージとパソコン等の他の用途に用いられるストレージとの間には供給の代替性も認められない。

以上のことから、本件では、「HPCシステム用ストレージ」を商品範

圏として画定した。

## 2 地理的範囲

前記1で画定した各商品について、供給者は世界全体に商品を提供できる仕組み・能力を有しており、これらの製品を国内に供給するに当たり日本特有の障壁もなく、輸送費、関税等も低い。

また、需要者は、世界各地の供給者から同等の価格で商品を調達することが可能である。

したがって、本件では「世界全体」を地理的範囲として画定した。

## 第4 本件行為が競争に与える影響

本件行為は、当事会社が共にHPCシステムを製造販売していることから水平型企业結合に該当する。

また、CrayグループがHPCシステム用ストレージをHPCシステムの製造販売業者に対して販売しているため、HPCシステム用ストレージを川上市場、HPCシステムを川下市場とする垂直型企业結合にも該当する。

### 1 水平型企业結合及び垂直型企业結合（川下市場）

HPCシステムの製造販売業における市場シェアは下表のとおりであり、HHIは約1,500、HHI増分は約100であることから、水平型企业結合のセーフハーバー基準に該当する。

また、当事会社の市場シェアは約20%であることから、垂直型企业結合のセーフハーバー基準に該当する。

#### 【平成30年度におけるHPCシステムの市場シェア】

順位	会社名	市場シェア
1	A社	約25%
2	HPEグループ	約20%
3	B社	約10%
4	C社	約10%
5	D社	約5%
6	E社	0-5%
7	Crayグループ	0-5%
	その他	約25%
合計		100%
合算市場シェア・順位：約20%・第2位		

## 2 垂直型企業結合（川上市場）

HPCシステム用ストレージの製造販売業における市場シェアは下表のとおりであり、Crayグループの市場シェアは0-5%であることから、垂直型企業結合のセーフハーバー基準に該当する。

### 【平成30年度におけるHPCシステム用ストレージ市場シェア】

順位	会社名	市場シェア
不明	Crayグループ	0-5%

## 第5 結論

本件行為により、一定の取引分野における競争を実質的に制限することとはならないと判断した。